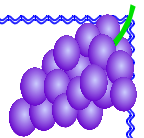


砥山農業小学校通信



第4号

砥山農業クラブ

2004年 8 月 9 日 発行

8月8日(日)の授業

時間割	教 科 と 学 習 内 容	教 室	備 考
1 時限	ブドウの袋かけ作業体験	砥山ふれあい果樹園	
2 時限	サクランボジャムづくり体験	西本果樹園	
3 時限	ジャガイモの収穫体験	八剣山果樹園	
4 時限	ジャガイモ試食	八剣山果樹園	

【本日の授業内容】

暑い毎日が続いています。八剣山周辺で栽培されている果物や野菜は、太陽の光をいっぱい受け、収穫の季節に向けて、すくすくと生長しています。

今回は、ブドウ棚から垂れ下がりはじめたブドウの実に袋かけを行うほか、先月収穫したサクランボによるジャムづくりに挑戦したり、5月の入学式に植えたジャガイモを収穫し、それを試食することとしています。

【授業の主な内容】

5月16日	入学式、リンゴのお話し 果樹園見学(リンゴ、サクランボの花摘み) ジャガイモ作業体験
6月13日	リンゴの実の摘果 ブドウの芽かき、皮はぎ 野菜畑見学(ジャガイモ、小松菜、アスパラ) イチゴ収穫体験
7月11日	サクランボまつり
9月19日	ブドウの収穫体験 リンゴの葉摘み作業体験 くだもの押し花づくり体験 園芸植物見学
10月 3日	リンゴの収穫体験 交流会 卒業式

【授業実施の場所】



今回の授業で訪れた農園

【授業の感想】

午前中から、晴れわたった暑い日差しの中、ブドウの葉が生い茂る下で垂れ下がりはじめたブドウに、虫などから守るための袋かけ作業を行いました。棚の下はブドウの葉で日差しがさえぎられ、さわやかな風が吹き抜けていました。次の収穫体験で収穫するブドウにねらいを定めて、袋をかけている参加者もいたようです。

また、7月に収穫して冷凍していたサクランボを使って、ジャムづくりに挑戦しました。鍋にサクランボとグラニュー糖を入れ、アクを取り除きながら木べらでかき混ぜ、煮詰めました。煮詰まってきたところで火を止め、持参したビンにサクランボを詰めました。まだ熱い状態でしたが、少し味見をしたところ、サクランボの甘酸っぱい味がしましたので、冷めるとおいしいジャムが完成することでしょう。

午後からは、5月に行ったジャガイモを掘り起こしました。説明を受けてから、男爵とキタアカリの種類ごとに別れて、イモをおおっていたマルチを取り除いてから茎を引き抜くと、そこには大小たくさんのイモが付いていました。また、土の中にもたくさんのイモが残っており、それを集めたところ、6箱に山盛りとなりました。そのイモを大きな鍋でゆでてもらって試食しましたが、収穫作業の苦勞も吹き飛ばすような、大変おいしい「新ジャガ」でした。



【ジャガイモの収穫作業】

発行：砥山農業クラブ事務局（瀬戸 修一）
061-2275 札幌市南区砥山84番地
011-596-2694 FAX 011-596-2694

8月8日の砥山農業小学校



【 棚から垂れ下がるブドウたち 】



【 ブドウの袋かけ作業 】



【 サクランボのジャムづくり作業 】



【 作ったジャムをビンに入れて 】



【 ジャガイモの収穫方法について説明 】



【 収穫したジャガイモの試食 】

